

# 令和4年度事業報告

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

## I 事業の状況

### 1 概 況

令和4年度は、指定管理者として、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第4期の、福島市民家園については第3期のそれぞれ4年目の管理運営に当たり、利用者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検、計画的な修繕など、施設の適切な維持管理に取り組んだ。

令和2年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、社会生活も落ち着き始めており、すべての管理施設において、各種大会、イベント等が開催できるようになってきた。このため、事業の実施に当たっては、感染防止対策のガイドラインに沿った事業内容の見直しを行うとともに、コロナ禍における利用者ニーズを踏まえ、都市公園の利用促進や公園での健康づくりのための各種事業を展開した。

**あづま総合運動公園**では、スポーツの普及指導事業として昨年は開催を見送った「あづまの郷ウォーク大会」、「あづま荒川クロスカントリー大会」等を開催するとともに、今年度は新たに「あづま夕焼けパークマラソン」を開催した。また、子どもを対象とした「あづまジュニア体操競技大会」「あづまU-12 ガールズフットサル 2023」や水泳、球技等の各種スポーツ教室、一般の方を対象とした公園健康づくり教室、テニス大会等を必要な感染防止対策をした上で開催した。

レクリエーション事業としては、「あづま球場みんなのボールパーク」、「あづまちびっこパーク」、「あづまT e s h i — g o t 市場」等のイベントを開催したほか、気軽に参加できる「あづまでインスタ！写真&動画コンテスト」を開催することで「行ってみたい、利用してみたい魅力ある公園」を広く発信し、公園のイメージアップを図った。

体力増進事業としては、トレーニング室での月会員・半年会員サービス等に取り組んだほか、施設の利用促進のため、庭球場での「夏季週末早朝営業」や照明が整備された9月から21時までの夜間営業も実施した。また、照明が設置されたとうほうみんなのスタジアムでは、週末夜間のランニング利用として「公園ナイトラン&ウォーク」を開催した。

この他、水素燃料電池システムの保安管理・PR 事業を受託し、施設の維持管理及びPR 事業に取り組んだ。

**福島空港公園**では、福島空港と共同で「空港公園まつり」を開催したほか、「第16回福島空港公園杯グラウンドゴルフ大会」、「第16回福島空港公園杯少年フットサル大会」などのスポーツ大会や、健康づくり事業として「ノルディックウォーキングで健康になろう」などを実施するとともに、「第15回空のみちウォーク 2022」、「福島空港公園handmademarket ソライチ」など大規模イベントを開催した。

個人参加型のイベントや各種体験会では、子ども向け環境学習「みどりの楽校」、「福島空港公園自然塾」、公園の花木を活かした「観桜会」などを開催した。

また3月には、福島空港公園開園30周年記念事業として、県知事、須賀川市長、玉川村長に参加いただき、福島県復興のシンボルである八重桜「はるか」の植樹式を行った。

**逢瀬公園・福島県総合緑化センター**では、「逢瀬公園さくらまつり」や「キャベツ餅 MUSIC LIVE」等を中止したものの、地域関係団体との連携により、「逢瀬公園秋の感謝祭」や新規事業「光のページェント」を実施した。また、体験会や教室などについては、感染防止対策として、1回の参加募集人数を減らしながら、昨年度よりも多くの回数を開催し、参加者の確保に努めた。さらに、年度末の2月20日からは、数十年に一度開花するとされるサボテン園の「アガベ（多肉植物）」が開花し、マスコミ等の取材に対して積極的にPRした結果、県内外から多くの見学者が訪れたこともあり、過去最高の利用者数となった。

**福島市民家園**では、年中行事・体験行事の多くを、感染防止対策を講じたうえで開催したほか、緑側の山野草展・即売会、夜の民家園、民家園秋まつり等を開催した。

また、冬期間には、寄贈品のだるまの展示を行い、関連イベントとしてギャラリートーク、だるま絵付け体験会等を開催した。

積極的な事業展開に加え、利用者の利便性向上を目的に令和4年6月に開店した飲食店「にぎ和伊カフェむろいし」の効果もあり、利用者数は過去最高となった。

**緑の普及指導・緑化の推進事業**では、「みどりの相談所」等を設置し、樹木等に関わる各種相談に対応したほか、公園施設を利用し「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」、「公園の落ち葉プール」等のイベントを開催した。

また、県から「里山の銘木・鎮守の森診断業務」を受託するなど、県内各地の樹木調査・診断業務等に取り組んだ。

**大規模イベント**としては、東京オリンピックレガシーであるあづま球場において、8月に日米対抗ソフトボール競技、9月に「東都大学野球」秋季リーグの開会式及び開幕戦、10月に福島県最大級の音楽フェス「LIVE AZUMA 2022」が開催され、事前の調整など、指定管理者として円滑な対応に努めた。

＊ 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

## Ⅱ 事業概要

### 1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

#### (1) スポーツの普及指導事業

##### 1) スポーツ教室

新型コロナ感染防止対策を行ったうえで、子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむからだあそび」、「季節を感じるウォーキング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事 業 名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	初心者ナイトサッカー体験会	小学生	6～9 月	全 4 回	84 名
	小学生バドミントン体験会	小学生	4～2 月	全 6 回	39 名
	ワンポイント水泳教室	プール利用者	4～6 月 10～12 月	全 24 回	152 名
	季節を楽しんで歩こう	一般	4～11 月	全 8 回	67 名
	親子で楽しむからだあそび	幼児・親	7 月 23 日 3 月 12 日	2 回	32 組
	小学生初心者水泳教室	小学生	5～11 月	(6 日 × 4 期) 全 5 期	510 名
	小学生かけっこ陸上教室	小学生	4/6～27	4 日 × 1 期	123 名
	小学生一輪車教室	小学生	6/26	1 回	20 名
	小学生体操教室	小学生	1/4、7、8、 11、14、15	6 日 × 1 期	108 名
	公園健康づくり教室	一般	5～3 月	全 6 期	565 名
空 港	ノルディックウォーキングで健康になろう	一般	4 月～3 月	全 24 回	553 名
	空港公園でヨガ	一般	4/10、6/12、 8/7、10/9	4 回	77 名
逢 瀬 、 センター	ノルディックウォーキング体験教室	一般	4 月～3 月	全 48 回	622 名

## 2) スポーツ大会

新型コロナの影響により一部の大会は中止となったが、チーム対抗テニス大会や小学生バレーボール大会を主催するとともに、ウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを、感染防止対策を徹底して各種スポーツ団体と共催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

場 所	事 業 名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第 37 回福島市スポーツ少年団 バレーボール競技大会	小学生	4/10、5/1	中止
	第 11 回あづま総合運動公園チーム対抗 テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	160 名
	第 38 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	6/4	323 名
	第 13 回あづま総合運動公園杯 県北マスターズテニス大会	一般	6/23	66 名
	第 14 回あづまカップ パークゴルフ大会	一般	9/1	中止
	第 25 回 Me&You サッカー フェスティバル	小学生	8/6、7	593 名
	第 38 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/3	899 名
	第 18 回西方部親善木球大会 兼第 12 回あづま杯木球大会	一般	9/3	27 名
	第 26 回ミニバスケットボール チビッツフェスティバル	小学生 低学年	9/10、11	中止
	第 30 回あづまカップ 福島市ゲートボール交流大会	一般	10/26	約 40 名
	第 45 回総合運動公園庭球場オープン 記念ダブルステニス大会	小学生、中 学生、一般	10/23、30	104 名
	あづま夕焼けパークマラソン 2022 （新規）	一般	8/28	337 名
	第 20 回記念あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	約 1500 名
	うつくしまふくしま第 45 回福島県 小学生バレーボール選手権大会	小学生	12/24、25	281 名
	第 23 回あづま荒川 クロスカントリー大会	小学生～ 一般	12/11	826 名

場 所	事 業 名	対 象	実施日	延べ参加 選手数
あづま	第 22 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/21、22	49 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2023	小学生 女子	2/11	30 名
空 港	第 16 回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	10/22, 23	約 300 名
	須賀川市大東地区球技大会（グラウンド・ゴルフの部）	一般	6/6	中止
	第 29 回福島県ターゲット・バードゴルフ大会	一般	9/15	中止
	第 16 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	10/28	約 300 名
	第 11 回福島空港公園杯 8 人制ジュニアサッカーフェスティバル	小学生	6/4, 5	約 600 名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	10/8, 9	約 400 名
	第 9 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生 高校生	10/15, 16	約 100 名
逢 瀬、 センター	第 13 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2022	一般	5/29	115 名

### 3) ニュースポーツ普及指導事業

#### 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。

（あづま 貸出件数 延べ 33 件）

#### 4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	スポーツ教室	公園カルチャー・公園健康づくり教室を協働で開催するとともに、春のノルディックウォーキング教室（5/11, 18, 25, 6/1、4回 26名）、ヨガプラクティス（4/7、14、21、5/12、19、6/2、9、16、7/7、14、21、8/4、25、9/1、8、15、10/6、20、27、19回 180名）、を開催した。
	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供。相談件数（122件）
	クライミングウォールの講習会開催補助及び体験会	県山岳連盟と連携しスポーツクライミングの普及に努めた。講習会は体験会 5/28、10/1（参加者 99名）
	庭球場ナイター照明点灯セレモニー【新規】	ソフトテニスの県内実業団チーム「チームダンロップ」に協力していただき、照明の点灯式及び県北の小学生を対象としたソフトテニス教室を開催した。（教室参加者 30名）
	第20回記念あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3（参加者 約1,500名）
空 港	第15回空のみちウォーク 2022	地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。（参加者 約600名）

#### 5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。また、競技力向上に寄与した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② アーチェリー指導（合宿）
- ③ 陸上競技指導（部活動での指導）

#### 6) とうスタをホームとするプロスポーツへの支援事業（あづま）

とうほう・みんなのスタジアムをホームとする福島ユナイテッドFCに対し、パートナー契約に基づき、応援コーナー、応援ボードの設置、興行用備品購入など、当該チームの支援を行った。

## 7) その他のスポーツ普及指導事業

### ① とうスタで「ナイトラン&ウォーク」

公園での健康づくりを目的に、とうほう・みんなのスタジアムの照明施設を活用し、参加者に自由に週末のナイトランを楽しんでもらうイベント「とうスタでナイトラン&ウォーク」を新たに実施した。(4/8～10/30 の 26 日間(土日のみ) 423 名)

### ② スポーツを楽しんで食事券を GET しよう

閑散期の冬季に利用者数を増やし、健康づくりに寄与するため、トレーニング室と室内プールの利用者を対象にポイントカードを作成し、貯まったポイントで体育館レストラン又は福島市民家園カフェむろいしで利用できる 500 円食事券と交換できるサービスを開催した。(期間：10/1～3/31(食事券の有効期限 4/30)延べ 382 名に食事券配付)

## (2) レクリエーションの普及指導事業

### 1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため「公園の落ち葉プール」をはじめ各公園において体験型イベントを実施した。また、県民の生涯学習の場として、各種手づくり講座等を開催した。なお、一部の講座は、仕事帰りに参加できるよう夜間の開催とした。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	公園で見つけた、とっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募るフォトコンテストを実施。 第 15 回の入賞作品を展示(あづま、福島県庁、センター、空港、コラッセ福島)した。 第 16 回は 87 名から総数 246 点の応募があった。
あづま	あづまでインスタ！写真&動画コンテスト (一部新規)	若い世代にも気軽に投稿できるインスタグラムを活用して、公園のイメージアップにつながる写真や動画を募集し、「行ってみたい、利用してみたい、魅力のある公園」として発信する。 写真部門は 70 名から 247 作品、動画部門は 8 名から 12 作品の応募があった。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりの教室	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。全 6 回（参加者 139 名）
	子どもみどりの教室	福島県もりの案内人を講師に水辺の調査とウォータースライダー体験を行った。8/1 参加者数 26 名。冬の体験として親子で作ろうスノードームを行った。12/11（参加者 26 名）
	ボランティアとの協働による公園づくり	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア（11 回、参加者数 109 名）、みどりのサポーター（9 回、参加者 51 名）、うつくしま園芸福祉の会（8 回、参加者 51 名）。
	公園の落ち葉プール	子供たちに身近な自然との触れ合いの場を提供するとともに、落ち葉の有効利用を目的とし、体育館入り口付近に落ち葉プールを設置。（10/28～11/13 日 利用者 450 名）
	あづまバラ愛好会の活動	ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め 57 回開催。（参加者 1,154 名）
	公園カルチャー教室、公園健康づくり教室	講師（講座）を募集し教室を年 6 期（44 講座）開催。（参加者 565 名）。
	あづま球場みんなのボールパーク（新規）	普段、立ち入ることのできない人工芝グラウンドを使って、子どもから高齢者までが楽しく集えるイベントを行った。4/29（参加者 約 600 名）
	あづまちびっこパーク	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思い切り遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施。9/25（参加者 645 名）



場 所	事 業 名	内 容
空 港	とんぼ玉づくりを楽しむ	21 世紀建設館を会場にトンボ玉を作った。(参加者 20 名)
	手づくりピザを楽しむ	(新型コロナ感染拡大により中止)
	門松づくり体験	21 世紀建設館を会場に、門松づくり体験を開催。1 回 (参加者 20 名)
	みどりの講座	バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催。8 回 (参加者 230 名)
	空港公園自然塾	木の枝クラフト、藍染などを実施。全 6 回 (参加者 80 名)
	空港公園で農体験 ～野菜づくりを楽しむ～	みんなの野菜畑 (植え付け、芋掘り) を開催。2 回 (参加者 38 名)
	空港公園の魅力再発見	公園の代表的な花木であるサクラを説明する観桜会と紅葉鑑賞会を開催。2 回 (参加者 29 名) (9/10 は中止)
逢 瀬、 センター	坂道ウォーキングによる健康増進機会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースの整備として、階段修繕、危険木の伐採や剪定、案内看板の改修を行った。また「コースマップ」をスタート地点や売店、休憩所に配置。スタート地点のマップ入れの改修やスタート地点の案内板の改修を行った。
	みどりを感じる手づくり講座	木の実のクラフト、繭玉フラワーづくり、地元の染織家を講師として草木染め、ミニ門松づくりなどのみどりに関する体験教室を開催。全 18 回 (うち 1 回コロナ中止)、(参加者 176 名)。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観察舎を設置し、子どもたちの利用促進に努めた。(6 月中旬～8 月末、入場者数 14,068 名)
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフトづくりやナイトウォーク体験等を行った。全 6 回 (うち 1 回コロナ中止)、(参加者 302 名)。

## 2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の公園として関係団体などと連携しながら、「ボランティアとの協働による公園づくり」、「各種体験会」、「公園への親しみを管理運営に展開するボランティア活動」、「民家園秋まつり」などの事業を開催し、公園利用者数の増加に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり（再掲）	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。 みどりのボランティア（11回、参加者数109名）、みどりのサポーター（9回、参加者51名）、うつくしま園芸福祉の会（8回、参加者51名）。
	あづまちびっこパーク（再掲）	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思いっきり遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施。9/25（参加者645名）
	第18回西方部親善木球大会 兼第12回あづま杯木球大会（再掲）	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/3（参加者27名）
	第11回あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。（10/22、23、来園者23,522名）
	第20回記念あづまの郷ウォーク大会（再掲）	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。（11/3、参加者約1,500名）
	親子で学ぼう！防災教室	防災について親子で楽しく学べる機会を提供した。（9/25 参加者645名）

場 所	事 業 名	内 容
空 港	第 15 回空のみちウォーク 2022 (再掲)	地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。(参加者 約 600 名)
	ノルディックウォーキングで健康になろう (再掲)	空港公園の 3 エリアを活用し、ノルディックウォーキング体験会を開催。全 24 回 (参加者 553 名)
	空港公園でヨーガ (再掲)	緑のスポーツエリアの天然芝を活用したヨーガの体験会を開催。4 回 (参加者 77 名)
	第 9 回福島空港公園 handmademarket「ソライチ」	11/26, 27 の 2 日間、150 店舗の手作り品を扱うお店が出店した。(来場者 約 9,000 名)
	ノルディックウォーキング空港公園大会【新規】	福島県ノルディックウォーキング協会の協力を得て、エアフロントエリアから野外活動エリアのコースを楽しんだ。(参加者 90 名)
	Y O S A K O I in 空港公園	県内各地より 15 チームが集まり、ヨサコイ演舞を行った。(参加者 約 500 名)
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～ (再掲)	みんなの野菜畑 (植え付け、芋ほり) を開催。2 回、(参加者 38 名)
	空港公園子ども生け花教室	地域の子供たちを対象とした生け花教室を開催。3 回、(参加者 61 名)
	パラスポーツ体験	パラリンピック競技のボッチャの体験会を開催した。(参加者 20 名)
	スポーツターフで遊ぼう	多目的広場の天然芝の上でスポーツ鬼ごっこを開催し、子どもたちが元気よく駆け回った。(参加者 50 名)

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	キャベツ餅MUSIC LIVE 2022	(新型コロナ感染拡大により中止)
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で 遊ぼう” (再掲)	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝 クラフトづくりやナイトウオーク体験等を行 った。全6回(うち1回中止)、(参加者 302 名)。
	逢瀬公園秋の感謝祭	地元の安積アルプス実行委員会、逢瀬の風実 行委員会との共催によって、コロナ禍での安 全安心な大規模イベントを開催。10/15・16、 (参加者 約 5,000 名)
	光のページェント【新規】	逢瀬町観光協会との共催によって、12/11 点 灯式を開催。参加者数(約 800 名)。12/27 ま で点灯し、冬の夜の公園の魅力を創出した。 (見学者 約 1,700 名)
民家園	縁側の山野草展・即売会	猪苗代山野草会による展示、福島植物園によ る即売会を行った。(参加者 1,130 名)
	民家園秋まつり	地元産新そばの販売、劇団公演、ワークショ ップ、市民団体と協働で開催。10/23・24、 (参加者 2,528 名)

### 3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

新型コロナの影響により、「中学生ドリームアップ事業」「いきいき交流通学合宿の受け入れ」などが中止となったが、地域の活性化を図るため、自治会や商工会議所等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり連携事業」等様々なイベントを開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「中学ドリームアップ事業(職場体験活動)」の生徒受け入れ (市内各中学校)	(新型コロナ感染拡大により中止)
	緑と花のあふれるまちづくり 連携事業	福島市商工会議所女性部と協力し花苗の栽培や、園内の花壇整備を行った。
	ボランティアとの協働による 公園づくり (再掲)	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。 みどりのボランティア (11 回、参加者数 109 名)、みどりのサポーター (9 回、参加者 51 名)、うつくしま園芸福祉の会 (8 回、参加者 51 名)。
	あづまバラ愛好会の活動 (再掲)	ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め 57 回開催。(参加者 1,154 名)。
	いきいき交流通学合宿の受け入れ	(新型コロナ感染拡大のため中止)
	あづま絵本ぶんこの活用	幼児体育室脇に、絵本を自由に楽しむことのできるコーナーとして「あづま絵本ぶんこ」を設けた。また、絵本の管理、消毒液の設置等コロナ対策を適切に実施。
空 港	空港公園まつり	5/8, 9/17 の 2 回、福島空港と共同で開催した。おもしろ自転車やプラバン作りなどを通して地域交流の場を提供した。(参加者 1,020 名)
	花のまちづくり推進事業	市民が参加して栽培した花苗で地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、4 月から 10 月まで 8 回延 101 名が参加し、4,000 ポットの花苗を地域に寄贈。

場 所	事 業 名	内 容
空 港	YOSAKOIin 空港公園（再掲）	県内各地より 15 チームが集まり、ヨサコイ演舞を行った。（参加者 約 500 名）
逢 瀬、 センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	（新型コロナ感染拡大により中止）
	周辺の小学校施設との連携強化	周辺の学校施設と連携して、視察の受け入れなど積極的に行った。（参加者 約 250 名）
民家園	民家園春まつり	周辺地域の協力のもと、映画上映、つるし雛展示、農産物直売、寒ざらしそばの出店等を行った。（参加者 1,458 名）

#### 4) サイクルススポーツ広場事業

消毒液の配置等、必要な新型コロナ対策を実施したうえで、変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり（無料）の貸出を行った。家族のふれあいの機会や子どもたちの健康増進のためサービスデーを設け、利用促進を図った。

また、夏期には、利用者の熱中症対策としてミスト装置を設置した。

利用者数は、（延べ 259,449 名）、有料自転車等利用者数は（204,862 名）、バッテリーカー利用者数（26,110 名）となっている。

### (3) 体力の増進事業

「公園で健康になろう」をテーマとして、子どもたちの遊び、運動の場の提供とともに、体育館トレーニング室、室内プール、陸上競技場トレーニング室における月会員制の継続実施や、半年会員制の導入等により、施設の利用を促進した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、子どもたちの健全育成や体力増進を応援するため、小学生以下を対象に、本来有料施設である軽運動室を無料開放。なお、新型コロナ対策として人数制限や換気、消毒等を行った。利用者数（18,953名）。
	月会員・半年会員サービス事業	<p>① 体育館・陸上競技場トレーニング室（12月末現在）            期間内において1日2時間まで使用可能な会員サービスに取り組み、トレーニング室の継続利用者の増加を図った。登録者数は、体育館トレーニング室では月会員延べ459名（一般213名、高校生2名、シルバー244名）、半年会員延べ66名（一般26名、シルバー40名）、陸上競技場トレーニング室では月会員延べ80名（一般57名、シルバー23名）、半年会員延べ4名（一般3名、シルバー1名）</p> <p>② 体育館室内プール            期間内において1日1回使用が可能な会員サービスに取り組み、室内プールの継続利用者の増加を図った。登録者数は、月会員延べ409名（一般168名、生徒4名、シルバー237名）、半年会員延べ24名（一般7名、シルバー17名）</p>

#### (4) その他の事業

##### 1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせ、七夕飾りと風鈴、お月見、クリスマス飾り、団子さしかざり、おひなさまを体育館ホールなどに展示。
空 港	季節の伝統行事を楽しむ	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、おひな様飾りを地域の子ども等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示。7月、12月、2月（参加者20名）
逢 瀬、センター	季節を感じる展示・飾り付け	四季の移り変わりを感じさせる飾り付けを行った。七夕、風鈴の設置、ハロウィン飾り、木の実細工展示、クリスマスツリー展示やわんぱく広場にイルミネーションの設置、団子さし飾りの展示を行った。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事の再現、体験行事等の円滑な運営に努めた。
	全国のだるま展示会・絵付け体験	全国のだるま展示会と絵付け体験を実施。（絵付け体験参加者19名）
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供した。



## 2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業 【公益目的事業】

### (1) 指定管理施設

#### 1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

### (2) 施設管理運営事業

#### 1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行うとともに、異状があった箇所については速やかに応急的な処置を行った。

(全公園共通)

#### 2) 点検作業

適正な施設の維持管理の一貫として、点検作業を体系化し、着実に実施するとともに、遊具について日常管理保、保守点検を行った。

守点検に努めた。(全公園共通)

#### 3) 修繕計画

有資格の職員により施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成し、県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。

(全公園共通)

#### 4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。

(全公園共通)

#### 5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(全公園共通)

#### 6) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置した。(あづま)

#### 7) 公園野良ネコの現状把握と対策

野良ネコの生息地や生息数を把握するため、一斉調査を計画的に実施するとともに、公園の捨て猫問題に取り組む関係者と、捨て猫の現状や里親さがしの状況について情報交換を行った。(あづま)

#### 8) 古民家等の適切な管理

次世代に確実に引き継いでいくため、貴重な古民家及び民俗資料の適切な管理に努めた。(民家園)

#### 9) 受動喫煙防止の取組

子どもたちやタバコを吸わない人をタバコの煙から守るため、喫煙所にフェンスを設置するなど受動喫煙の防止に取り組んだ。(全公園共通)

#### 10) あづま総合運動公園燃料電池保安管理・PR 業務 (あづま)

水素燃料電池保安管理・PR 事業を受託し、水素燃料電池システムによる発電施設の管理と PR 事業を進めた。

- ① 水素利活用発信 . . . . 水素燃料電池 PR のためのパネル作成と館内放送及び遠隔監視業務
- ② 水素設備点検 . . . . 高圧ガス保安法定期点検業務
- ③ 各種点検及び燃料電池 PR . . . 日常点検、施設案内
- ④ 設備修繕・改修 . . . . 水素トレーラ庫扉設置及びアスファルト修繕

#### 11) 園内案内看板の見直し改修

古くなった案内板などを現状にあった内容に改訂し、新たに看板を設置した。(逢瀬、センター)

#### 12) 日本庭園の池の水質浄化と滝の流れ

水質の浄化を目的に池の清掃を行うとともに、滝の水を定期的に流すなど、景観の維持に努めた。(センター)

### (3) 緑地管理事業

#### 【全公園共通】

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。
- ② 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理に努めた。

#### 【あづま、空港、逢瀬、センター】

- ③ 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。
- ④ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を合わせた植栽管理に努めた。
- ⑤ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。

#### 【空港、逢瀬、センター】

- ⑥ 日本庭園において樹木の生態に合った剪定や雪吊りなど日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。

#### 【あづま】

- ⑦ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。

#### 【センター】

- ⑧ 本館の外壁塗装工事(R2 年度)によって本館前の花壇植物が伐採されたことから、新たなおもてなし花壇を整備して来園者を楽しませた。

### (4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 県が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に協力した。なお、施設利用のキャンセルについては、原則利用料金の返還で対応した。

### (5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、有料公園施設並びに無料施設ともに前年度を大幅に上回り、概ねコロナ禍前（令和元年度）に回復した。これは、比較的大規模なスポーツ大会、イベント等が感染症拡大防止対策を講じたうえで有観客として開催されたことと、健康づくりとしてのウォーキング、散策等の利用の増加が要因であると思われる。

無料施設については、前年度と比べ約21.6万人増、有料公園施設は、あづま総合体育館が約3.8万人増、あづま球場が約5.7万人増、とうほう・みんなのスタジアムが約8.7万人増、全体でも前年度比約83.1%増（約18.2万人増）となり、公園全体では前年度比約52.6%増（約50万人増）の1,456,806人となった。

福島空港公園では、「空港公園まつり」、「第15回空のみちウォーク 2022」、「福島空港公園 handmademarket ソライチ」などのイベントや「第16回福島空港公園杯グ

ラウンドゴルフ大会」、「第16回福島空港公園杯少年フットサル大会」などの競技会を再開し多くの来場者があった。またエアフロントエリア及び野外活動エリアにおいて、幼稚園、小学校等の遠足、ウォーキングなどの健康づくり、家族単位等での散策や感染防止対策を行った各種スポーツ大会等を実施したことにより、前年度比で4.4%増（約2万人増）の487,726人となった。

逢瀬公園・緑化センターでは、昨年度に引き続きコロナ禍による大規模イベントの「さくらまつり」や秋の「キャベツ餅 MUSIC LIVE」などが中止となり、各種教室・講座などの募集定員数も会場が密にならないよう定員を10名/回にしたものの、「逢瀬公園感謝祭・秋」（5千人）や、冬季の閑散期に新規事業「光のページェント」（千7百人）が開催できたこと、屋外レクリエーション志向の高まりにより一般散策者がここ数年で多くなってきていること、サボテン園の「アガベ」の開花で多くの見学者（約3万7千人）が訪れたことなどから、前年度比で25.9%増（約4.6万人増）と、過去最高の222,707人となった。

福島市民家園では、一般散策者の利用増と併せて、行楽シーズンの好天、新しい出入口（室石口）の新設、「にぎ和伊カフェむろいし」の開店等の影響により、前年度比で約21.9%増（約1万人増）で過去最高の58,666人となった。

指定管理施設全体では、前年度比で約35.2%増（約57万9千人増）の2,225,905人となった。

（単位：人）

公園名	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
あづま	1,839,769	1,750,177	1,984,697	1,786,897	1,670,180	963,555	954,520	152.6%
								502,286
								1,456,806
空 港	508,824	519,573	529,353	530,967	524,424	428,480	467,382	104.4%
								20,344
								487,726
逢瀬、 センター	183,637	169,762	163,448	153,633	182,717	196,853	176,871	125.9%
								45,836
								222,707
福島市 民家園	46,169	40,515	35,432	35,875	33,228	51,566	48,145	121.9%
								10,521
								58,666
合計	2,578,399	2,480,027	2,712,930	2,507,372	2,410,549	1,640,454	1,646,918	135.2%
								578,987
								2,225,905

※令和2、3年度の利用者数実績については、コロナ禍による特殊事情が影響しています。

※R4欄については、上段：R4/R3、中段：R4-R3、下段：令和4年度実績数

### 3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

#### (1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント・教室開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施した。結果を分析し、分析結果を今後の事業計画に反映することとしている。(あづま〔対象数 7、回収数 1,251 件。〕)
- ② 公園管理運営に対する満足度を調査するためのアンケートを意見箱などで収集した。(あづま、空港、逢瀬・センター、民家園)。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。(あづま)
- ④ 他の類似公園の管理運営情報の収集を行った。(あづま)

#### (2) 都市公園等の広報事業

##### 【全公園共通】

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。
- ④ 各施設の現況や大会、イベントの開催状況などの情報を充実させたホームページをほぼ毎日更新した。
- ⑤ きめ細やかな公園の四季の発信として、ツイッターやInstagram等を活用したリアルタイムな情報の提供・交換や、混雑時の駐車場の空き状況の情報をきめ細やかに発信した。
- ⑥ 公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答を園内掲示板へ掲示した。

##### 【あづま、逢瀬、センター、民家園】

- ⑦ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。
- ⑧ 植物学習の場を提供するため、園内の植物名板の充実を図った。

##### 【あづま】

- ⑨ 公園スタッフが伝えたい見どころを、公式ユーチューブで発信するなど、公園プロモーション活動に取り組んだ
- ⑩ ホームページで園内開花状況などの情報を随時提供するとともに、公園の魅力が伝わる撮影スポットを SNS を利用して発信した。
- ⑪ 電光掲示板やデジタルサイネージを活用し、リアルタイムに情報を提供した。

##### 【逢瀬、センター】

- ⑫ 利用者からの要望に対する回答や公園の情報を発信する「公園情報コーナー」を休憩所に設置した。
- ⑬ 例年行っている公園及び隣接する河川沿いの桜の維持を目的とした新名所「逢瀬さくらの里」づくりは、会員が高齢であることから今年度もコロナ禍のため自粛した。

### （３）都市公園等の調査研究事業

グリーンエージ都市環境緑化フォーラム、東北スポーツ施設研究協議会等に参加し、公園やスポーツ施設について情報集収や情報交換を行った。

また、県内４市及び県、公園管理団体等情報交換会を開催し情報交換を行った。

### （４）都市公園等の利用促進事業

#### １）施設の特性を活かした事業の推進

##### 【全公園共通】

- ① ボランティアの協力をいただきながら、公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などを行った。
- ② 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。

##### 【あづま、空港、逢瀬、センター】

- ③ 公園での健康づくりをテーマとした各種事業等に取り組んだ。
  - ア コース案内看板の設置やマップ更新により、園内ウォーキングコース、ジョギングコースの充実に努めた。
  - イ とうほう・みんなのスタジアムのナイター照明設備を活用した「とうスタでナイトラン&ウォーク」（新規）を実施した。
- ④ みどりのボランティア、みどりのサポーター、あづまバラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。

##### 【あづま、空港】

- ⑤ 次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。
  - ア あづま総合運動公園（５/５、８/１１、１０/１０、３/２１ 年４回）プール、体育館トレーニング室及び体育室、陸上競技場トレーニング室、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は２３,８３２名。
  - イ 福島空港公園（毎月１回） ※お客様感謝デーとして実施  
庭球場。利用者数は４４１名。

##### 【あづま、逢瀬、センター】

- ⑥ サクラやイチョウ、ケヤキなどの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。

##### 【あづま】

- ⑦ 軽運動室を引き続き無料開放した。また、あづま絵本ぶんこを運営した。
- ⑧ 庭球場において、利用者ニーズを踏まえ、夏の涼しい時間帯（６時～９時）に利用していただく「夏季週末早朝営業」に取り組んだ。６月から８月の土日、２８日間で１,１９４名の利用があった。
- ⑨ とうスタの芝グラウンドにおいて、プロスポーツ利用（３月～１１月）に対応するため、芝生の養生管理に努めた。
- ⑩ カルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室、スポーツ教室

共催等、NPO法人あづまスポーツクラブの支援を行った。

- ⑪ ヤマユリ群生地 の保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。
- ⑫ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。
- ⑬ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じていただくとともに、各種植物園（円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園）の魅力を発信した。
- ⑭ 「ふくしま&あづまウェルカムボード」に引き続き福島西高デザイン科の協力を得て「ウェルカム広場」を整備した。※公園夢プラン大賞 2022 受賞
- ⑮ 体育館トレーニング室、室内プール、陸上競技場トレーニング室の利用に応じたポイントを付与し、レストラン松月及び福島市民家園カフェむろいしで利用できる500円食事券と交換できるサービス「スポーツを楽しんで食事券をゲットしよう！」を提供し、冬季間の利用促進に努めた。

#### 【空港】

- ⑯ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス（年間）  
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。
- ⑰ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。
- ⑱ 健康増進のため、利用者からの要望に応え卓球台を設置し、貸し出し（有料）を行った。

#### 【逢瀬、センター】

- ⑲ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供の強化として、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップを各所に配置した。
- ⑳ 新たなランニングコースの設定  
園内利用におけるランニング愛好家の増加を踏まえ、新たにランニングコース周辺の安全な走行整備を行った。
- ㉑ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、公園の冬の風物詩として、事務所前日本庭園のマツに雪吊りを実施し、施設の魅力アップを行った。
- ㉒ 公園資源を利用したニュースポーツとして、公園の豊かな自然の中で心身の健康増進を図る Park ヨガを開催した。全 24 回（参加者 191 名）。

#### 【センター】

- ㉓ 条例で休館日となっている第3日曜日を開館し、公園利用者の利便性向上を図った。
- ㉔ 「おうせ茶屋」は公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に運営しており、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を使った飲食サービスについて、広報等の支援を行った。また、おうせ茶屋には、公園や周辺地域の観光情報の提供等について協力いただいた。

### 【民家園】

- ②⑤ 寄贈されたものを活用して「だるま展示会」を開催し、民家園の利用促進を図った。
- ②⑥ 公園利用者の利便性の向上のため開店した「にぎ和伊カフェむろいし」の運営に協力し、新たな魅力づくり、サービスの向上に努めた。

### （５）都市公園等の地域づくり事業

福島商工会議所女性部に協力していただき、花苗の栽培や園内の花壇整備を行う「緑と花のあふれるまちづくり連携事業」など、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりを担う人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「中学ドリームアップ事業（職場体験活動）」の生徒受け入れ（市内各中学校）（再掲）（新型コロナにより中止）
	地域密着型プロスポーツへの支援事業
	ボランティアとの協働による公園づくり（再掲）
	あづまボランティアの活動（再掲）
	あづまバラ愛好会の活動（再掲）
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業（再掲）
	いきいき交流通学合宿の受け入れ（再掲）（新型コロナにより中止）
	あづまの郷ウォーク大会（再掲）
	荒川ミュージアムへの参画
空 港	第 15 回空のみちウォーク 2022（再掲）
	空港公園まつり（再掲）
	YOSAKOIin 空港公園（再掲）
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み
	周辺の公の施設との連携による地域づくりへの貢献
	地域の環境美化活動への貢献
	光のページェント【新規】
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み（新型コロナにより中止）



#### 4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

##### (1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

###### 1) 公園資源を活用した緑化推進事業

① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」は、コロナウィルス感染症対策を講じながら、ほぼ通常どおり開催できた。

公園の四季を彩るサクラ、イチョウ等のライトアップは継続して開催した。

また、「公園の落ち葉プール」で使用した落ち葉を堆肥用として無料配布するとともに、香りのバラ園まつりの来場者に花苗の無料配布を実施し、緑化の推進に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	サクラ光のファンタジー	4/6～4/17	1,787 名
	あづまバラ愛好会の活動（再掲）	4/3～3/6	1,154 名
	みどりのボランティアの活動	4/22～3/3	109 名
	みどりのサポーターの活動	5/11～12/7	51 名
	あづま「香りのバラ園まつり」	6/4, 5	13,250 名
	あづま香りのバラ園まつり花苗配布	6/4, 5	500 名
	あづまちびっこパーク（再掲）	9/25	645 名
	イチョウ光のプロムナード	10/2～11/13	13,515 名
	光のT R E Eページェント	12/9～12/25	3,455 名
	子どもみどりの教室（再掲）	8/1、12/11	52 名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	通年	—
空 港	花のまちづくり推進事業（再掲）	4/7, 21, 28, 6/9 8/18, 9/8, 15, 10/13	101 名
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～ （再掲）	5/16, 10/23	38 名
	みどりのカーテン設置	5 月～10 月	—
	空港公園の魅力再発見（再掲）	4/10、11/6、 9/10（中止）	29 名
逢 瀬、 センター	みどりに親しんでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	250 名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
逢 瀬、 センター	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業	6/18、7/30、10/2	30 名
	県内一の植物園的機能の充実に向けた取り組み	通年	—
	もりの案内人との連携による自然環境保全への取り組み	5 月～11 月	—
	緑化の推進と普及のための各種物品販売	通年	—
民家園	みどりのカーテン設置	5 月～8 月	—
	縁側の山野草展（再掲）	6/4、5	1,130 名
	植物見頃情報板及び花図鑑の設置	通年	—

② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催し、緑化の普及に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	みどりの教室（再掲）	5/13、6/15、7/4、9/14、12/15、2/22	139 名
空 港	空港公園自然塾（再掲）	5/21、7/16、9/24、11/19、12/10、1/14	120 名
	空港公園子ども生け花教室（再掲）	5/8、7/3、10/16	61 名
	樹木剪定専門技術研修	5/28、29、10/29、30	38 名
	空港公園みどりの楽校	10/27、1/27	33 名
	みどりの講座（再掲）	5/20、6/17、7/22、8/19、9/16、10/28、11/25、12/16	230 名
逢 瀬、 センター	スローライフを楽しむハブ講座	4/19、6/13、6/29、8/25、9/21、11/17	61 名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座	4/22、5/17	19 名
	公園は僕らの宝 “逢瀬の森で遊ぼう”（再掲）	4/10（コロナ中止）、5/4、8/6、10/15、10/16、3/12	302 名
	暮らしを彩るみどりと花の講座	6/5、6/28、7/6	41 名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/25、6/22、11/7、11/21	61 名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
逢 瀬、 センター	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業（再掲）	6/18、7/30、10/2	30 名
	サボテン園の魅力発信	通年（講座 5/27、12 名）	44,743 名

## ２） 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用したガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催し、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりの教室（再掲）	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。6 回、参加者数（139 名）。
空 港	みどりの講座（再掲）	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催。8 回、参加者数 230 名。
逢 瀬、 センター	芝生の葉アートを楽しもう	公園事業と河内小学校 1，2 年生の学校授業の連携により芝生に触れる体験を行った。6/10 参加者 6 名。
	暮らしを彩るみどりと花の講座（再掲）	全 3 講座のうち 1 講座は、流行の多肉植物の栽培と寄せ植えについて初心者向けの内容を加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者数 41 名。

## ３） その他の事業

### ① 「みどりの相談所」等の常設

「みどりの相談所」等をあづま総合運動公園と空港公園に常設して、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病虫害の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談を有資格者が受け対応した。

・ 樹種選定・特性	1 5 件
・ 栽培・増殖	1 5 7 件
・ 育成管理	3 4 4 件
・ 樹勢診断・治療処方	4, 1 6 6 件
・ 病虫害	6 6 件
・ その他	1 4 件

合 計 4, 7 6 2 件

〔うち、相談室内アドバイス	2 6 2 件	〕
出張アドバイス	4, 5 0 0 件	

## ② 「みどりの相談室」の設置

逢瀬公園・緑化センターでは、引き続き「みどりの相談室」を設置し、46人からの相談に対応した。

## 4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等で情報収集を行った。

## (2) 緑化推進の調査研究事業

### 1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、堆肥製造装置により堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集し、来年度の花壇用堆肥として再利用するため積み置き保管した。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

### 2) 生態系に配慮した事業

公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター)

### 3) 逢瀬公園、さくら守事業

さくらの広場のサクラの樹勢診断によって、枯れ枝の剪定や土壌改良による樹勢回復を実施した。(逢瀬、センター)

## 5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

### (1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

#### 1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① J 3 ユナイテッドホームゲーム (4/3、4/17、5/4、6/5、6/18、7/2、7/23、7/30、8/27、9/10、9/25、10/16、10/23、11/6、11/20、3/19 計 16 試合)
- ② B. LEAGUE 公式戦 2021-22 シーズン  
「福島ファイヤーボンズ対アースフレンズ東京Z」(4/2、4/3 2 試合)
- ③ 福島復興の夜空に舞い上がるカラフル Sky lantern 2022 (4/9)
- ④ 宝くじスポーツフェア ドリームサッカー in ふくしま (6/11、6/12)
- ⑤ LIVE AZUMA 2022 (10/15、10/16)

### (2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

#### 1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工  
令和4年度指定天然記念物定期診断業務(郡山市)

工期：R 4. 8. 5～R 5. 1. 31

- ② 樹木調査診断業務委託（その1）（双葉町）

工期：R 4.7.6～R 5.1.31

- ③ 令和4年度里山の名木・鎮守の森診断業務（福島県）

工期：R 4.4.20～R 5.3.15

## 2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 福島県立医科大学の緑地管理

福島県立医科大学緑地保全管理業務（公立大学法人福島県立医科大学）

工期：R 4.4.1～R 5.3.31

## （3）利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

### 1) 売店等の設置（あづま、空港、センター）

あづまに1箇所のレストラン、民家園に1箇所のカフェ及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

#### スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店の設置

	臨時売店
あづま	延べ 1,517 店
空 港	延べ 316 店
逢瀬・センター	延べ 66 店

### 2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	37 台	6 台
空 港	9 台	—
センター	2 台	—

### 3) スポーツ用品の販売、運動靴の貸出し（あづま、空港）

卓球ボールやバドミントンのシャトル、テニスボール等のスポーツ用品の販売、運動靴の貸出しを行い、利用者への利便供与に努めた。

### Ⅲ 役員等に関する事項

#### 1 理事、監事の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任等	変更事由等 (令和5年3月 31日)	(参考) 補充選任 (令和5年4月1日)
			氏 名		氏 名
理 事	猪 股 慶 藏				
理 事	石 森 春 男				
理 事	渡 辺 良 夫				
理 事	菅 家 礼 子				
理 事	滝 田 勝 彦			辞任による	穂 本 哲 哉
理 事	須 藤 淳 一			辞任による	欠 員
理 事	服 部 雅 道			辞任による	大 竹 和 彦
理 事	柳 田 範 久				
理 事	壺 岐 ひろみ				
理 事	若 松 伸 司				
監 事	鈴 木 和 郎				
監 事	川 村 猪佐雄				

#### 2 評議員の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等 (令和4年6月 10日)	補充選任等 (令和4年7月27日)	変更事由等 (令和5年3月 31日)	(参考) 補充選任 (令和5年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	迫 分 富 子			辞任による	須 藤 康 子
評議員	鶴 見 宏 幸				
評議員	小 川 宏				
評議員	森 雅 彦				
評議員	佐 藤 隆 広			辞任による	佐 藤 みゆき
評議員	齋 藤 卓 夫	辞任による	飯 沼 隆 宏		
評議員	齋 藤 俊 藏				
評議員	新 谷 崇 一				
評議員	増 田 聡				
評議員	矢 吹 貢 一				

### 3 常勤役員の異動状況

(令和4年4月1日付け選任)

旧：理事長 大河原 聡 (令和4年3月31日辞任)

新：理事長 猪 股 慶 藏 (令和4年4月1日新任)

### 4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 猪 股 慶 藏
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃

### 5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
<b>第1回理事会</b> 令和4年4月1日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 理事長の選任(案)について
<b>第2回理事会</b> 令和4年7月11日 杉妻会館 出席理事 8名 出席監事 2名	議案第1号 令和3年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 令和3年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第3号 令和4年度第1回評議員会の招集(案)について
<b>第1回評議員会</b> 令和4年7月27日 クーラクーリアンテ サンパレス 出席評議員 8名 出席監事 1名	報告事項1 令和3年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 令和3年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第2号 評議員の補充選任(案)について

開催月日	提 出 議 題
<b>第3回理事会</b> 令和5年1月23日 クーラクーリアンテ サンパレス 出席理事 8名 出席監事 2名	報告事項 令和4年度職務執行状況報告について 議案第1号 令和4年度補正予算（案）について 議案第2号 令和5年度事業計画（案）について 議案第3号 令和5年度収支予算（案）について 議案第4号 令和4年度第2回評議員会の招集（案）について
<b>第2回評議員会</b> 令和5年2月9日 杉妻会館 出席評議員 7名 出席監事 1名	報告事項1 令和4年度職務執行状況報告について 報告事項2 令和4年度補正予算について 報告事項3 令和5年度事業計画について 報告事項4 令和5年度収支予算について
<b>第4回理事会</b> 令和5年3月24日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 令和4年度第3回評議員会の開催（案）について 議案第2号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会の個人情報保護に関する規程の改正（案）について 議案第3号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会の情報公開に関する規程の改正（案）について 議案第4号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会就業規則の一部改正（案）について
<b>第3回評議員会</b> 令和5年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 10名	議案第1号 評議員の補充選任（案）について 議案第2号 理事の補充選任（案）について

#### Ⅳ 特記事項

なし。

#### 附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。

令和5年3月

公益財団法人福島県都市公園・緑化協会